

第 1 1 章 啓発事業

本市では、地球環境及び地域環境の現状について多くの市民、特に次世代を担う子供たちに情報を提供することにより、市民一人ひとりが環境について関心を持ち、環境を守る取組みの第一歩を身近なところから始めてもらうきっかけづくりを目的として次のような啓発・広報活動を行っている。

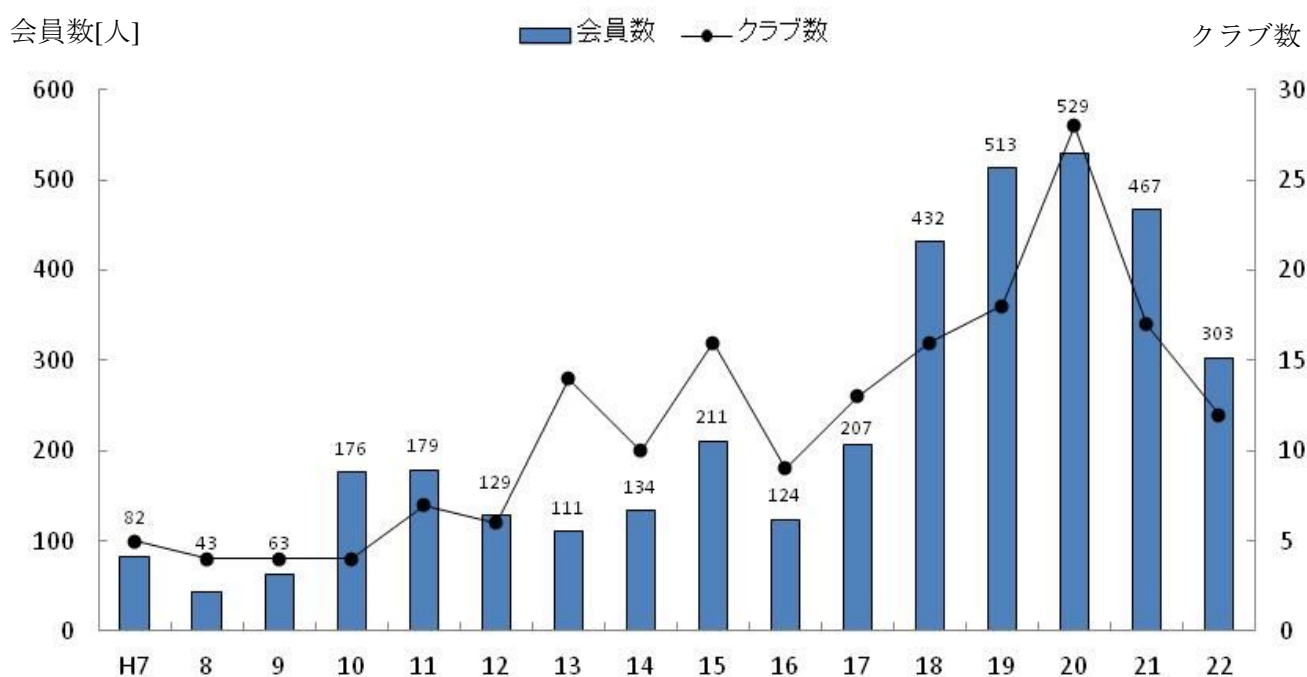
1. こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子供たちが主体的に行う環境学習及び環境保全活動を側面から支援することを目的として、平成7年度から環境省が実施している。本市も平成7年7月、環境課内に「こどもエコクラブ」事務局を設置し、以来、年間6回程度の自主開催イベントによる啓発活動を展開している。平成22年度、本市からは12クラブ303人がこどもエコクラブ活動に参加した。

表-1 平成22年度こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況

団体名	会員数	団体名	会員数
あすなる子供会	21	宮地っ子クラブ	26
昭和小エコクラブ	9	ひかり児童館	103
ばんぺいゆエコクラブ	2	kkmファミリー	1
ガールスカウト熊本県第22団	20	日奈久小5年エコクラブ	16
松高エコレンジャー	8	日奈久小環境委員会	4
NPO法人スポーツクラブ・エスペランサ熊本	81	エコファイターズ	12

図-1 こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況の推移



※平成16年度までは、(旧)八代市のデータを掲載

表-2 平成22年度子どもエコクラブイベント実績

イベント名	開催日	開催場所	参加人数
干潟観察会	平成22年5月29日(土)	大島干潟	33人
カヌー教室	平成22年7月30日(金)	氷川及び草谷公園一帯	20人
水生生物観察会	平成22年8月20日(金)	水無川(ほたるの里公園)	42人
冬の野鳥観察会	平成23年1月22日(土)	球磨川河口右岸(鼠蔵町)	31人
計			126人

干潟観察会

干潟に生息する生き物の観察を通して、干潟の役割などについて考えてもらうことを目的に大島干潟で開催。

干潟や生き物について学習した後、大島干潟で生き物の観察を行った。



カヌー教室

カヌーを通して、氷川という身近な自然環境と触れあってもらうことを目的に氷川及び草谷公園一帯(泉町)で開催。

熊本県立八代農業高等学校泉分校カヌー部顧問田中互氏から、パドル操作など乗り方の指導を受け、各自カヌーを楽しんだ。



水生生物観察会

子供たちが身近な自然である「川」に親しみながら環境への関心を深めることを目的に水無川（ほたるの里公園）で開催。

パックテストによる水質調査や底生動物の調査によって川の水環境を評価した。



野鳥観察会

球磨川河口に飛来する野鳥の観察を通して、干潟の役割などについて考えてもらうことを目的に球磨川河口右岸で開催。

講師に八代野鳥愛好会の高野先生を迎え、球磨川河口に飛来する渡り鳥について学習した後、球磨川河口右岸で観察を行った。



※12月に予定していた「STOP!温暖化教室」については、都合により中止。

2. まちづくり出前講座

(1) 目的

環境問題に関する出前講座の要望に対して、環境行政に携わる市職員（環境課及びごみ対策課）が直接出向き、地球環境問題をはじめ、私達の生活に身近な環境・自然の状況について事例紹介等を行い、地球環境及び本市の環境の現状について考える機会を提供する。

(2) 派遣対象

市民団体、市内小・中特別支援学校、
市内保育園及び幼稚園



まちづくり出前講座の様子

(3) 内容

小・中学校等の希望する講座内容にあわせ、事前打合せを行ったうえで、簡易実験等を取入れながら実施している。また、水生生物観察会、干潟観察会等の野外活動や自然観察についても対応している。

(4) 平成 22 年度まちづくり出前講座(環境問題関係)事業実績

平成 22 年度実績は 47 回、延べ 1,124 人に対して実施した。依頼内容としては、ごみ問題に関する内容が多い。平成 21 年度（14 回 823 人）と比較すると件数、人数ともに増加した。（平成 21 年度までは、環境に関する講座を「環境ゼミナール事業」として実施。平成 22 年度から、市まちづくり出前講座に一本化。）

3. 環境月間等

(1) 「環境月間」及び「環境の日」

6月5日は、ストックホルム国連人間環境会議の開催（昭和47年6月）を記念して決定された国連の「世界環境デー」である。日本においても平成3年度から、6月を「環境月間」とし、環境保全活動の重点推進を図っている。

また、平成5年11月に制定された「環境基本法」では6月5日を「環境の日」と定めており、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい事業を実施するよう明記されている。本市としてもクリーンな地域環境を維持、向上させるため次の活動を実施した。

平成22年度「環境月間」行事

行事名	期日	内容
夏の軽装(クールビズ)	6月1日～ 10月15日	市庁舎等の室内温度を28℃に設定することに伴い、職員のノーネクタイ・ノー上着ファッションを実施した。
市広報紙掲載	6月1日	広報紙「広報やつしろ」に地球環境問題及び環境月間行事等を掲載し、広く市民に周知することで、環境保全意識の向上を促した。
市内一斉清掃	6月中	市政協力員の呼びかけにより町内の清掃を行い、生活環境の美化に努めた。
廃棄物不法投棄 合同パトロール	6月12日	通常の不法投棄監視指導員によるパトロールに加え、八代保健所及び国土交通省と合同で市内の不法投棄場所を調査・指導した。
犬のフン害防止 パトロール	6月7日 ～11日	地域を巡回し、飼主がペットのフンを適正に処理するよう、広報パトロールを実施した。

(2) 平成 22 年度「環境衛生週間」

生活環境の保全及び公衆衛生を向上させるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行日である 9 月 24 日（清掃の日）から「浄化槽法」の施行日である 10 月 1 日（浄化槽の日）までの期間「環境衛生週間」にあわせ、本市では次の活動を実施した。

平成 22 年度「環境衛生週間」行事

行 事 名	期 日	内 容
市内一斉清掃	9 月中	環境衛生週間中に市政協力員の呼びかけにより、各町内の実情に応じて一斉清掃を行った。
犬のフン害防止パトロール	9 月 24 日 ～30 日	地域を巡回し、飼主がペットのフンを適正に処理するよう、広報パトロールを実施した。
環境美化推進善行者表彰	10 月 1 日	日頃から住みよいきれいな地域社会及び美しい街づくりに尽力している個人、団体を表彰し、その功績を称えた。
環境美化推進研修会	10 月 1 日	熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科准教授「やつしろ里海ネット」代表 上久保祐志氏を講師に招き、八代市の環境問題に関する講演会を実施した。

4. 広報活動

本市では、環境に関する身近な情報をいち早く市民に届けるため、広報紙やメディアを活用した広報活動を積極的に展開している。

また、平成 20 年度から環境情報紙「しろくまだより」を毎月 1 回、平成 22 年度からは隔月で回覧している。

(1) 広報紙「広報やつしろ」

発行月日	掲載内容
4 月 1 日号	八代住宅用太陽光発電システム設置費補助 八代市住宅用太陽熱温水器設置費補助金 こどもエコクラブ会員募集 犬の登録と狂犬病予防集合注射
5 月 1 日号	「干潟観察会」参加者募集 生ごみ堆肥化容器等設置助成金
6 月 1 日号	6 月は環境月間（特集） 八代市環境センター（仮称）の建設候補地について
7 月 1 日号	夏休みこどもエコクラブイベント
8 月 1 日号	「ごみ非常事態宣言」継続中（特集） 「くまもとみんなの川と海づくりデー」参加者募集 空き地の雑草について
9 月 1 日号	「ごみ非常事態宣言」継続中
10 月 1 日号	3 R 運動（特集） 電気式生ごみ処理機と堆肥化容器の設置助成枠を拡大しました 買い物には「マイバッグ」を！ 段ボール箱を使った生ごみ堆肥化講習会 「ごみ非常事態宣言」継続中
11 月 1 日号	新たに市の組織を設置します！（環境センター建設課） 「ごみ非常事態宣言」継続中
12 月 1 日号	「ごみを減らそう！」ポスター・標語コンクール 「ごみ」の処理は適正に！～迷惑行為はやめましょう～ 循環型社会形成推進地域計画の承認について 「ごみ非常事態宣言」継続中
1 月 1 日号	冬の野鳥観察会～冬の珍鳥「オオズグロカモメ」を見よう～ 「ごみ非常事態宣言」継続中
2 月 1 日号	「ごみ非常事態宣言」継続中
3 月 1 日号	「ごみ非常事態宣言」継続中

(2) ラジオ「FM やつしろ」による放送

放送日	放送内容
平成22年4月12日	太陽光発電など環境保全に係る補助制度について
4月19日	干潟観察会とエコクラブメンバー募集について
5月31日	環境月間について
6月4日	段ボール箱を使ったごみ堆肥化について
6月14日	環境センターの建設について
7月12日	「カヌー教室」と「水生生物観察会」について
8月4日	正しいごみの出し方について
9月22日	環境衛生週間について
10月4日	マイバッグキャンペーン（3R）推進、助成金交付の受付終了について
10月25日	「STOP！温暖化教室」について
11月1日	野焼き・不法投棄の防止について
11月30日	ごみの減量化について
12月22日	年末年始のごみ収集について
平成23年1月17日	「冬の野鳥観察会」について
3月14日	狂犬病予防注射について
3月28日	23年度生ごみ堆肥化容器等設置助成金について

(3) 環境情報紙「しろくまだより」

発行月日	掲載内容
5月28日	環境の日・環境月間について／熊本ライトダウンキャンペーン 2010／エアコンのフィルターはこまめに掃除／市内一斉清掃について
7月28日	夏のスターウォッチングの開催について／ごみ減量のお願い／くまもと・みんなの川と海づくりデーについて
9月28日	ごみの減量について／生ごみ堆肥化講習会について／熊本県こどもエコクラブ壁新聞展表彰について
11月26日	家庭排水と水質汚染の関係について／殺鼠剤の無料配布について
1月28日	ごみの分別について／光熱費節約について
3月25日	平成23年度太陽光発電システムの設置に対する補助制度について／平成23年度生ごみ堆肥化容器等の設置助成について

(4) その他

やつしろ広域環境フェスタ（球磨川河川敷スポーツ公園、平成22年5月7日～9日）「九州国際スリーデーマーチ」の同時開催イベントとして実施。地球温暖化をはじめとした環境問題についてのパネル展示や環境体験コーナーのほか、環境をテーマとしたエコ・ウォーク「アルコロジー」などを行った。